

未来のために、今やるべきことがある

環境活動レポート

発行日：2020年8月31日
(対象期間：2019年4月1日～2020年3月31日)



株式会社 **エコスプラント**

SDGsへの取組

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

私たち株式会社エコワスプラントはSDGsの趣旨に賛同し、産業廃棄物処理業を通じて私たちが出来る事から少しずつ活動を行うことで、持続可能な世界の実現を目指します。
社員と環境意識の共有を図り、日々活動しています。

事業活動での環境負荷低減に努めています。



事業活動に伴う節電、節水、マイバック使用など、CO2削減や廃棄物の発生抑制に努めるとともに社員のeco検定取得に手当を支給し、環境活動を通じた環境教育を実施しています。

◆エコアクション21 ◆Fun to Share ◆チームもったいない

エコドライブ・事故ゼロを目指します。



地球温暖化、資源枯渇、廃棄物などの問題を改善、解決するためエコアクション21に取り組むとともに、二酸化炭素(CO₂)、窒素酸化物(NO_x)、粒子状物質(PM)の排出量を減少させる環境性能に優れた低公害車の導入を進めています。また、全車種にテレマティクスとドライブレコーダーを搭載し、運行にかかる負荷・速度・時間、危険運転等を記録しデータ化することで「地球環境の保全」及び乗務員の安全も考慮した適切なエコドライブ指導を行い、安全と環境に配慮したセーフティドライブの推進に努めています。

※2018年度、2019年度 交通エコロジー・モビリティ財団エコドライブ活動コンクール優良賞受賞

◆エコドライブ推進

ゼロエミッション・CO2削減を目指しています。



地球温暖化、資源枯渇、廃棄物などの問題を改善、解決するためには廃棄物のリサイクルが必須です。当社に搬入される廃棄物は可能な限り資源として再生されています。再生品がより流通するように事務用品等は全てグリーン購入を実施しています。また、遠距離への運搬に際してはフェリーや鉄道輸送によるモーダルシフトへ切り替えています。

◆モーダルシフトへの切り替え ◆グリーン購入の徹底

働きやすい環境づくり、プライベート充実のため健康経営に取り組んでいます。



従業員の安全確保と企業理念実現のためには、従業員一人ひとりの心身の健康が不可欠であるとの思いと、従業員が健康であることが生産性向上や会社の持続的な成長につながるという考えから「健康づくりマスタープラン」を策定し、「健康宣言」を行うことで休暇取得の推奨や労働時間削減、母性保護、ハラスメント相談窓口設置、グッドジョブカード配布、インフルエンザ予防接種の実施など様々な取り組みを行ってまいりました。2019年には健康経営優良法人に認定されています。より働きやすい職場づくりを実施しサービス品質の向上にも繋げていくために、多様な人材が柔軟な働き方を選択できるように時短勤務や限定職等を選択できる制度も策定しています。

◆健康経営優良法人の認定

ダイバシティへ取り組んでいます。



東京都障害者雇用優良企業に認定されるなど、障がい者雇用、高齢者雇用に積極的に取り組み、現在では3名の知的障がい者の方と安全と健康が確認された9名の65歳以上の高齢者の方も勤務しています。また、採用や昇進、教育に当たっては学歴・性別・国籍等に左右されることなく平等に機会を付与しています。

◆障がい者・高齢者雇用の推進

BCP（事業継続計画）を策定しています。



大規模な災害が発生し事業継続が危ぶまれる事態に至った場合においても、従業員及びその家族の安全を確保しながら被害を未然に防止し、また早期に事業を復旧させる体制を整えています。早期復旧により災害廃棄物の処理等を通じて地域の復旧に貢献できればと考えています。

◆災害に備え、有事の際にも社会貢献を

ボランティア活動に取り組んでいます。



毎月実施している近隣清掃や業界団体と連携して行っているビーチクリーン活動、当社独自の植林活動を通して自然を守り、より良い環境のもと誰もが健康的で豊かな生活を送れるよう努力しています。また、自然観察指導員の養成も行い、自然の大切さを広く広める活動も行っています。

◆近隣清掃 ◆植林活動 ◆ビーチクリーン活動 ◆自然観察指導員

SDGs推進のために連携を大切にします。



SDGs推進企業とのパートナーシップを図るとともに当社の取組みを積極的に広報し、持続可能な開発目標を達成するために業界団体や地域住民等との連携を通じて活動を行ってまいります。

CONTENTS

SDGsへの取組	P. 2
エコアクション21環境方針	P. 4
会社概要	P. 5
環境管理体制・組織図	P. 6
事業の概要	P. 7
許可の内容	P. 8
環境・安全への取組	P. 10
施設等の状況（収集運搬車両・容器の種類・低排出ガス車導入状況）	P. 12
施設等の状況（積替え保管施設）	P. 13
施設等の状況（中間処理施設）	P. 14
一般廃棄物中間処理業フロー図及び受入量	P. 16
事業規模の推移	P. 17
エコアクション21環境目標	P. 18
環境保全活動の取組結果の評価・環境活動計画の概要・取組結果	P. 19
CO2収支結果	P. 20
今年度の反省及び次年度の取組内容・代表者のコメント	P. 21
社会貢献活動・その他環境活動	P. 22

株式会社エコワスプラントは産業廃棄物処理業を通し、「Think Globally Act Locally」の精神のもと、来るべき「ゼロ・カーボン社会」に向けて地球とともに環境を創造してまいります。

エコアクション21 環境方針

2012年4月2日改定

基本理念

株式会社エコワスプラントは、産業廃棄物収集運搬・中間処理業を通し、資源循環型社会構築へ貢献し、環境を創造する企業をめざします。

方針

- 1 環境経営システムを活用し、環境経営を積極的に推進し、環境負荷の継続的改善に努めます。
- 2 当事業に適用される環境関連法規等を遵守します。
- 3 当社の産業廃棄物処理業という事業特性を踏まえ、以下の環境活動に重点的に取り組みます。
 - ① エネルギーの使用量を削減し、地球温暖化防止のために二酸化炭素の搬出削減に努めます。
 - ② 自社廃棄物の搬出量の削減、リサイクルの推進に努めます。
 - ③ 節水を徹底し、排水量の削減に努めます。
 - ④ 地域へ影響を与える悪臭・振動・騒音の発生防止に努め、環境美化を積極的に推進します。
 - ⑤ 受託廃棄物のリサイクル率向上に努めます。
 - ⑥ グリーン購入を推進します。
- 4 この環境経営システムの機能を有効にする為に社内体制を確立し全従業員への環境教育・啓発に努めます。
- 5 この環境方針を実現する為に、環境目標を設定し、定期的に見直し環境改善に努めます。

代表取締役 浅尾 洋和



株式会社 エコワスプラント

会

事業所名：株式会社 エコワスプラント
代表者名：代表取締役 浅尾 洋和
法人設立年月日：1999年1月18日
資本金：6,000万円
売上高：940,383千円（2018年度）

社

対象事業所・所在地

- ・本社、日の出リサイクルプラント第二、日の出収集運搬車両駐車場2（東京都西多摩郡日の出町平井22番地10）
- ・日の出リサイクルプラント、日の出デポステーション（東京都西多摩郡日の出町平井34番地1）
- ・あきる野リサイクルプラント、あきる野デポステーション、あきる野収集運搬車両駐車場（東京都あきる野市養沢1095番地）
- ・日の出収集運搬車両駐車場1（東京都西多摩郡日の出町平井35番3）

概

事業活動（※）：エコアクション21認証・登録

- ・産業廃棄物中間処理業（※） ・一般廃棄物中間処理業（※） ・産業廃棄物収集運搬業（※）
- ・特別管理産業廃棄物収集運搬業（※） ・一般廃棄物収集運搬業 ・リサイクル製品製造業（※）
- ・解体工事業（※） ・フロン回収業 ・計量証明事業 ・労働派遣事業

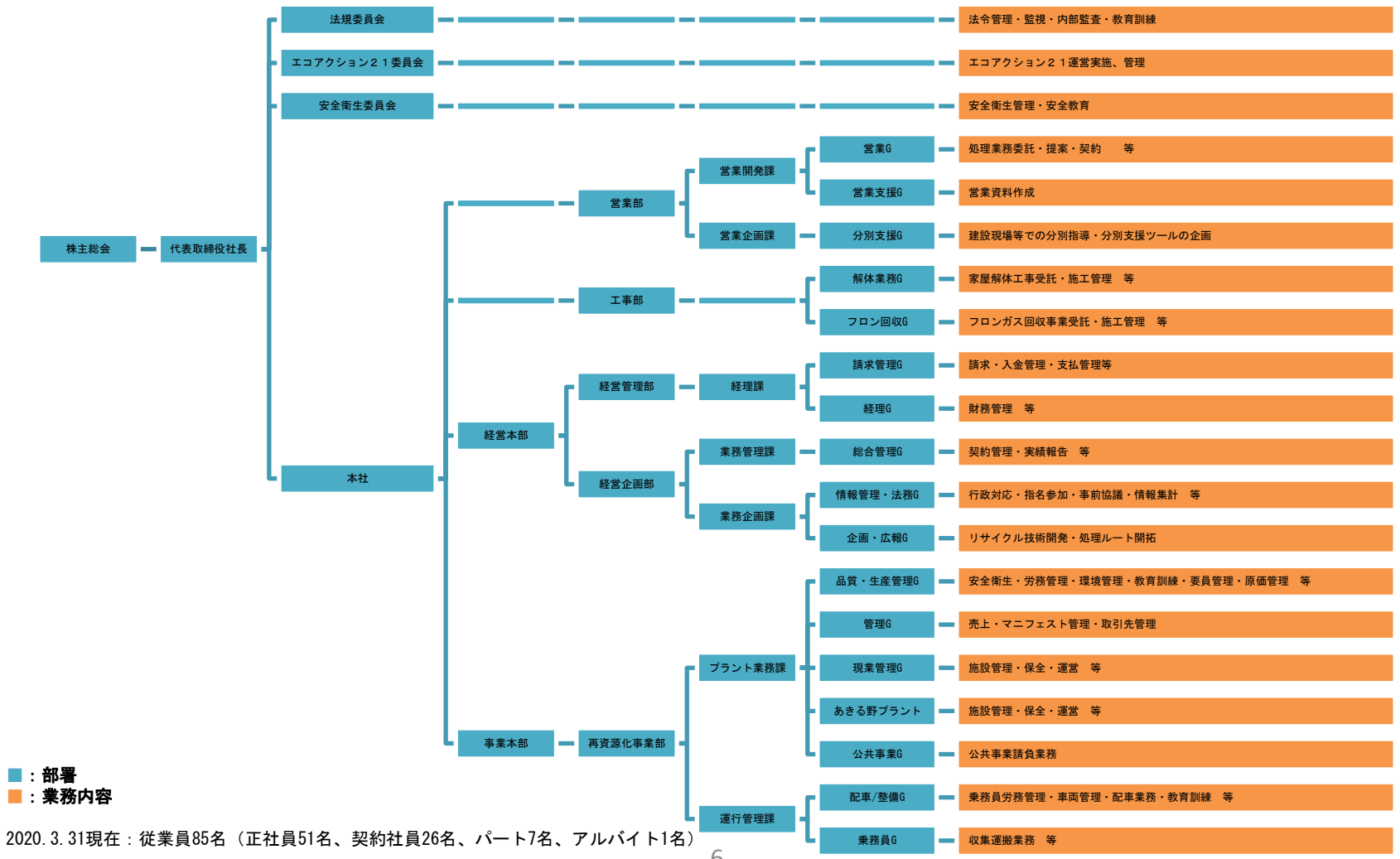
要

環境管理責任者・事務局担当者：澤田鉄平
TEL：042-597-1115
FAX：042-597-5555
HPアドレス：<https://www.ecowasplant.co.jp/>

◆環境管理体制・組織図



・環境管理責任者 ・環境管理事務局 澤田 鉄平	・統括安全衛生責任者 吉岡 正城	・安全管理責任者 ・公害防止管理者 ・衛生管理者 緑川 幸一	・運行管理責任者 久津輪 昭彦	・防火・防災管理者 島田 豊	・遵法監視責任者 長南 裕子
--	--------------------------------	--	-------------------------------	------------------------------	------------------------------



2020. 3. 31現在：従業員85名（正社員51名、契約社員26名、パート7名、アルバイト1名）

環境創造企業として、廃棄物処理はもとより、廃棄物の排出抑制及び再資源化に係わるトータルな環境ビジネスをご提供しています。



本社・日の出リサイクルプラント第二

- ・産業廃棄物処分業
- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・特別管理産業廃棄物収集運搬業
- ・一般廃棄物収集運搬業
- ・解体工事業
- ・フロン回収業
- ・労働派遣事業



日の出リサイクルプラント・日の出デポステーション

- ・産業廃棄物処分業
- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・一般廃棄物処分業
- ・リサイクル製品製造販売業
- ・計量証明事業業



あきる野リサイクルプラント・あきる野デポステーション

- ・産業廃棄物処分業
- ・産業廃棄物収集運搬業



- 家屋解体工事
各種内装解体工事を承っています。お見積りから施工、収集運搬・処分まで一貫して行っております。



- フロン回収事業
エアコンなどから排出される各種フロン類を回収し、適正に処理を行います。



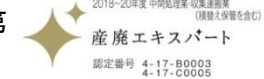
- 計量証明事業
40t台貫による重量における計量を証明しています。



- リサイクル製品製造販売業
当社の石膏ボード専用設備により、土壌改良材やグランドマーカ―を製造しています。グランドマーカ―は地元西多摩地区から千葉県にいたるまで、各幼稚園、小中学校で使用されています。

許可の内容

中間処理はもとより、各地の収集運搬業において優良認定を受けております。また、東京都が独自に認定している第三者優良評価制度においても、第一区分である「産廃エキスパート」の認定を受けています。（2020.3.31現在）



様式第九号の二（第十条の六関係） 令和元年10月4日 31環多産廃届第588号
許可番号 第13-20-072577号

産業廃棄物処分業許可証

住所 東京都西多摩郡日の出町平井2番地10
氏名 株式会社エコフスプラント
代表取締役 浅尾 洋和

第14条第6項 第14条の2第1項

東京都印事 小池百合子

許可の有効期限 令和3年12月31日

1 事業の範囲
(1) 業の区分：処分（中間処理）
(2) 処分の方法と取り扱う産業廃棄物の種類
破砕：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類
(以上8種類)
圧縮・梱包：廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず（ガラスウール及びロックウールに限る。）
(以上6種類)
焼却：廃プラスチック類（地熱発電用炉に限定。）
(以上1種類)

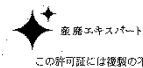
2 事業の用に供する施設（詳細は裏面に記載）
施設住所
(1) 東京都あきる野市養沢字大平1095番地、1096番地
(2) 東京都西多摩郡日の出町平井34番地1、34番地2、34番地10
(3) 東京都西多摩郡日の出町平井2番地10

3 許可の条件
(1) 作業時間は、あきる野市養沢字大平1095番地、1096番地の施設については、原則として8時から17時までとする。
(2) 「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「都民の健康と生活環境に関する条例」及びその他の関係法令を遵守すること。
(3) 中間処理は本都の承認を得た方法により行なうこと。

4 許可の更新・変更の経緯
平成14年12月2日 新規許可
平成26年12月2日 更新許可 第2回
平成29年12月6日 変更許可 種類の増（圧縮・梱包：ガラス・コンクリート・陶磁器くず）
破砕施設（日の出町・53.9t/日）における種類の増
令和元年9月5日 変更届 施設の追加（日の出町平井2番地10）

5 規則第10条の4第5項の規定による許可証の提出の有無 無

(裏面あり)



認定番号：4-17-C0005

東京都

令和元年10月4日 31環多産廃届第588号
許可番号 第13-20-072577号

(裏面)

2. 事業の用に供する施設
施設住所：(1) 東京都あきる野市養沢字大平1095番地、1096番地

施設種類	産業廃棄物の種類	単独処理能力	混合処理能力	設置年月日	許可番号	施設許可年月日
破砕	廃プラスチック類	3.5(t/日)	11.0(t/日)	平成13年2月1日	産廃第52009号	平成13年2月1日
	紙くず	7.0(t/日)				
	木くず	14.8(t/日)				
	繊維くず	4.5(t/日)				
	金属くず	7.0(t/日)				
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	10.5(t/日)				
破砕	がれき類	18.8(t/日)	平成15年4月1日	産廃第10013号	平成15年4月1日	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	37.6(t/日)				
破砕	がれき類	609.6(t/日)	53.9(t/日)	平成16年5月23日	産廃第10013号	平成16年4月1日
	廃プラスチック類	19.6(t/日)				
	紙くず	32.6(t/日)				
	木くず	62.8(t/日)				
	繊維くず	23.5(t/日)				
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（ガラスウール及びロックウールに限る。）	3.3(t/日)				
破砕	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	21.0(t/日)	平成15年5月23日	産廃第10013号	平成15年5月23日	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（ガラスウール及びロックウールに限る。）	54.0(t/日)				
圧縮・梱包	廃プラスチック類	11.0(t/日)	14.0(t/日)	平成23年1月20日	産廃第10013号	平成23年1月20日
	紙くず	7.0(t/日)				
圧縮・梱包	繊維くず	34.0(t/日)	0.48(t/日)	平成25年10月2日	産廃第10013号	平成25年10月2日
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（ガラスウール及びロックウールに限る。）	154.0(t/日)				

施設住所：(3) 東京都西多摩郡日の出町平井2番地10

施設種類	産業廃棄物の種類	単独処理能力	混合処理能力	設置年月日	許可番号	施設許可年月日
圧縮・梱包	廃プラスチック類	211.0(t/日)	224.0(t/日)	令和元年9月5日	---	---
	紙くず	217.0(t/日)				
	木くず	283.0(t/日)				
	繊維くず	354.0(t/日)				
圧縮・梱包	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（ガラスウール及びロックウールに限る。）	154.0(t/日)	---	---	---	---
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（ガラスウール及びロックウールに限る。）	154.0(t/日)				

この許可証には複製の不正防止処置を施してあります。

◆環境・安全への取組



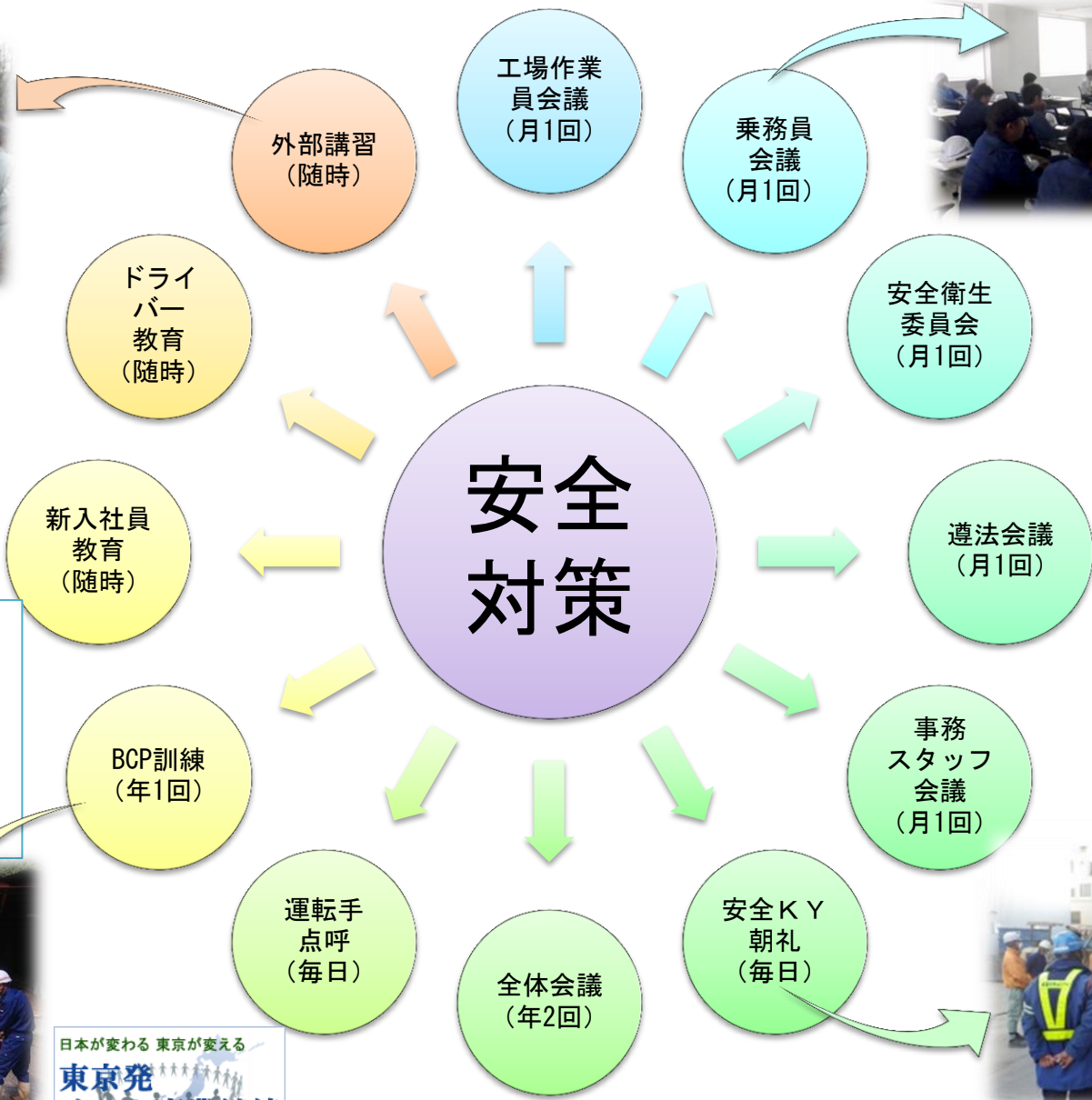
あらゆるシーンで安全、コンプライアンスの徹底を図るため、営業、事務員、工場作業員、ドライバーなど職種別の社員教育はもとより、毎日の朝礼や点呼、毎月開催される安全 衛生委員会や遵法会議等を通じて、最新の情報を共有し、確認を行っています。



BCP（事業継続計画）とは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。
（中小企業庁HPより）



日本が変わる 東京が変わる
東京発 チーム事業継続



毎月実施される乗務員会議により、安全運転指導、エコドライブ指導はもとより、各種法律知識も教育しています。



安全運転の取組

各車両とも、飛散
流出防止のために
シート掛けにて運
搬しています。

全車、自動車
NOx・PM法対策済
みの車両を使用し
ています。

ECOドライブ講
習に積極的に参加
しています。

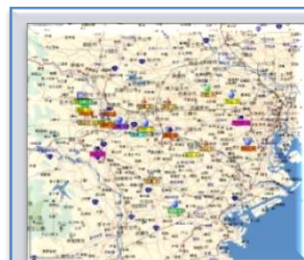
全車にドライブレ
コーダーを搭載し、
エコドライブ及び
安全運転に努めて
います。



車載カメラ映像



運転診断表



GPSによる運行管理

運行車両全てにGPS・ドライブレコーダーを
搭載し、配車センターにて集中管理していま
す。これにより、配車業務の効率化・運行経
路の記録管理、到着予定時間の適確なご回答、
安全運転・エコドライブやコンプライアンス
管理を実現しています。

◆施設等の状況（収集運搬車両・容器の種類・低排出ガス車導入状況）

多様多種の車両・分別容器を揃え、現場に合った再資源化のご提案をしています。



- **4m3・6m3・8m3コンテナ設置による収集**
大型建設現場や設置スペースのある事業場に最適。長さ13m（4t）9m（2t）高さ3.5mの作業スペースが必要です。
・対応車種：2tアームロール車、4tアームロール車
- **1m3エコパレット・2m3BOX設置による小口巡回回収**
設置スペースの少ない作業所やゼロエミでの分別に最適。ユニック車でフレコンを交換いたします。
・対応車種：4tユニック車、6tユニック車
- **巡回回収車で定期回収**
ハウスメーカー等、BOX設置スペースの無い作業所では、巡回回収車が定期的に回収に伺い、クリーンな作業環境を作ります。
- **積み込み回収**
BOX設置スペースが無かったり、大量に廃棄物が出る作業所では、ダンプ車にて回収にお伺いいたします。
- **分別ヤードの設置・分別指導**
環境美化や再資源化率の向上、処理費削減のための分別ヤードの設置協力、朝礼等での分別指導も行えます。

運搬車の排ガスレベル	台数	割合
全保有台数	34台	100.0%
①平成11年規制適合車	0台	0.0%
②平成12年基準低排出ガス車 良☆	0台	0.0%
③平成12年基準低排出ガス車 優☆☆	0台	0.0%
④平成12年基準低排出ガス車 超☆☆☆	0台	0.0%
⑤平成12年基準排出ガスPM75%低減ディゼル車 ☆☆☆	0台	0.0%
⑥平成12年基準排出ガスPM85%低減ディゼル車 ☆☆☆☆	2台	5.9%
⑦平成17年規制適合車	4台	11.8%
⑧平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆	0台	0.0%
⑨平成17年基準低排出ガス車 ☆☆☆☆	0台	0.0%
⑩平成17年基準NOx・PM10%低減重量車 ☆	0台	0.0%
⑪平成17年基準NOx・PM10%低減重量車 ★	9台	26.5%
⑫平成19年規制適合車	1台	2.9%
⑬平成21年排出ガス基準10%低減☆	0台	0.0%
⑭平成22年規制適合車	3台	8.8%
⑮平成22年規制適合車/排出ガス10%低減車☆	11台	32.4%
⑯平成28年（ポストポスト新長期）排出ガス規制	4台	11.8%
2020.3.31現在		

運搬車の燃費低減レベル		台数	割合
全保有台数		34台	100.0%
平成17年度燃費基準達成車	①—	0台	0.0%
	②10%低減レベル	0台	0.0%
平成22年度燃費基準達成車	③—	0台	0.0%
	④5%低減レベル	0台	0.0%
	⑤10%低減レベル	0台	0.0%
	⑥15%低減レベル	0台	0.0%
	⑦25%低減レベル	0台	0.0%
	⑧—	13台	38.2%
平成27年度燃費基準達成車	⑨5%向上	2台	5.9%
	⑩10%向上	5台	14.7%
	⑪15%向上	1台	2.9%
2020.3.31現在			

昨年度は車両1台の入替、1台の増車を行いました。排ガスレベル平成22年規制適合車以上が52.9%、平成27年度燃費基準達成車が61.8%となりました。

◆施設等の状況（積替保管施設）



少量の産業廃棄物を積替保管施設にて保管し、大型車両でまとめて他の積替保管施設や最終処分場へ運搬しています。まとめて運搬を行うことで燃料使用によるCO2の削減に貢献しています。

【あきる野デポステーション】			
施設面積	3615.0m2		
最大保管高さ	2.0m		
産業廃棄物の種類・保管量	汚泥	ドラム缶 2本	0.4m3
	廃油	ドラム缶 1本	0.2m3
	廃酸	ドラム缶 2本	0.4m3
	廃アルカリ	ドラム缶 2本	0.4m3
	廃プラスチック類	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	紙くず	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	木くず	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	廃プラスチック類、木くず、繊維くず（廃畳）	直置き	19.4m3
	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	金属くず	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（廃石膏ボード）	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類	6m3コンテナ 1基	6.0m3
	廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、れき類（石綿含有産業廃棄物）	6m3コンテナ 3基	18.0m3
	汚泥、廃プラスチック類、金属くず（廃消火器）	鉄箱 1個	2.0m3
	廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、金属くず（廃蛍光灯及び廃HIDランプ）（水銀使用製品産業廃棄物）	ドラム缶 4本	1.2m3
保管量合計	79.9m3		

【日の出デポステーション】			
施設面積	2552.0m2		
最大保管高さ	1.2m		
産業廃棄物の種類・保管量	廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類（石綿含有産業廃棄物）	8m3コンテナ 2基	16.0m3
	廃プラスチック類、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、金属くず（廃蛍光灯及び廃HIDランプ）（水銀使用製品産業廃棄物）	ドラム缶2本専用箱27個	3.84m3
保管量合計	19.84m3		



◆施設等の状況（中間処理施設）



最新設備による破碎、圧縮・梱包、溶融、機械選別まで、分別ラインときめ細やかなマンパワーとの融合による安全・効率的な環境型処理システムを導入。より高い廃棄物の減量化・再資源化を実現しています。

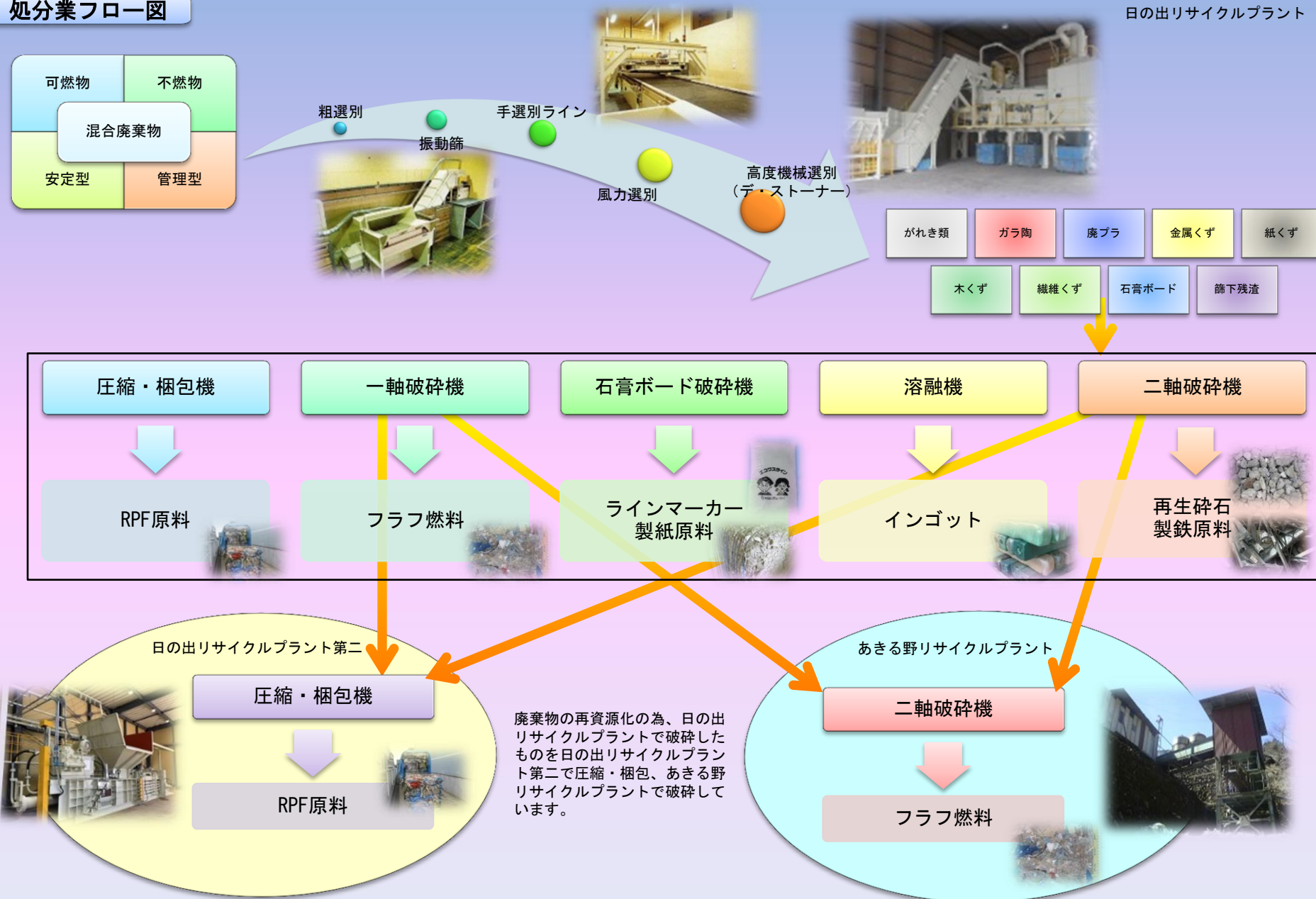
【日の出リサイクルプラント】		
施設面積	3,141.96m2	
工場棟	1,372.45m2	
選別棟	346.82m2	
事務所棟	119.24m2	
設置場所	東京都西多摩郡日の出町平井34番地1、34番地2、34番地10	
設置年月日	平成15年5月23日	
稼働時間	24h/日（許可時間）	
環境保全対策	局所集塵機・ミスト噴霧装置・屋内施設による騒音の低減・低振動低騒音型重機の使用	
破碎施設1（油圧式二軸破碎機）		
構造・設備の概要	破碎室寸法	W1500mm×L1500mm
	動力	75kW
	廃プラスチック類	64.5t/日
	紙くず	114.7t/日
	木くず	157.9t/日
	繊維くず	64.5t/日
	ゴムくず	57.3t/日
	金属くず	121.9t/日
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	537.6t/日
	がれき類	609.6t/日
混合	226.1t/日	
破碎施設2（一軸式破碎機）		
構造・設備の概要	破碎室寸法	W1090mm×L1200mm
	動力	55kW
	廃プラスチック類	19.6t/日
	紙くず	32.6t/日
	木くず	62.8t/日
	繊維くず	23.5t/日
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（ガラスウール及びロックウールに限る）	3.3t/日
	混合	53.9t/日
破碎施設3（二軸式破碎機）		
構造・設備の概要	投入口寸法	1000mm×1000mm
	動力	22.5kW
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（廃石膏ボードに限る）	24.0t/日
圧縮・梱包		
構造・設備の概要	最大供給寸法	W3000mm×L2000mm
	動力	37kW
	廃プラスチック類	211.0t/日
	紙くず	217.0t/日
	木くず	283.0t/日
	繊維くず	354.0t/日
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず（ガラスウール及びロックウールに限る）	154.0t/日
	混合	224.0t/日
溶融		
構造・設備の概要	最大供給寸法	W980mm×L600mm
	動力	2.2kW
	廃プラスチック類（発泡スチロール・スチレンフォームに限る）	0.48t/日

【あきる野リサイクルプラント】		
施設面積	6,900m2	
設置場所	東京都あきる野市養沢1095、1096	
設置年月日	平成13年2月1日	
稼働時間	8h/日（8時から5時まで）	
環境保全対策	散水による粉塵の防止・防音壁による騒音の低減低振動低騒音型重機の使用	
破碎施設：（二軸式破碎機）		
構造・設備の概要	廃プラスチック類	3.5t/日
	紙くず	7.0t/日
	木くず	14.0t/日
	繊維くず	4.5t/日
	金属くず	7.0t/日
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	10.5t/日
	がれき類	18.5t/日
	混合	11.0t/日
【日の出リサイクルプラント第二】		
施設面積	1,756.37m2	
工場棟	892.62m2	
事務所棟	310.00m2	
設置場所	東京都西多摩郡日の出町平井22番地10	
設置年月日	令和元年9月5日	
稼働時間	24h/日（許可時間）	
環境保全対策	散水による粉塵の防止・屋内施設による騒音の低減・低振動低騒音型重機の使用	
圧縮・梱包		
構造・設備の概要	最大供給寸法	W3000mm×L2000mm
	動力	37kW
	廃プラスチック類	211.0t/日
	紙くず	217.0t/日
	木くず	283.0t/日
	繊維くず	354.0t/日
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず （ガラスウール及びロックウールに限る）	154.0t/日
	混合	224.0t/日



分別ヤードで粗選別された残りの混合廃棄物は、フォークスクリーンにより土砂をふるい落としした後、コンベアに乗って選別ラインに送られます。熟練したマンパワーと磁選機、風力選別機により品目別に分別されます。ラインの最後には、風力選別機を装備し、可燃物と不燃物に分別します。不燃物は更に高度機械選別機『デ・ストーナー』により精選別されます。なお発生する篩下残差はセメント原料として再資源化されています。

処分業フロー図

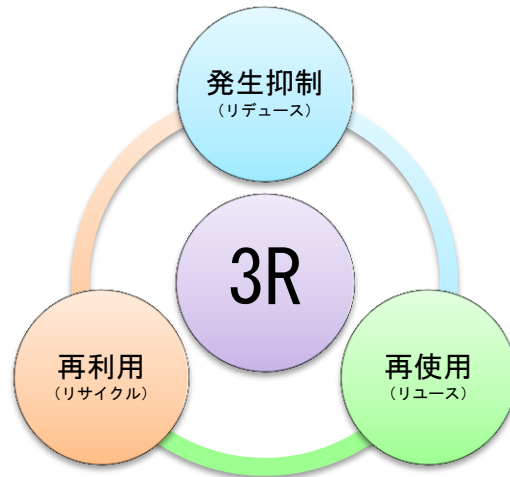


◆一般廃棄物処理業フロー図及び受入量

一般廃棄物中間処理業フロー図



2019年度受入実績（t）	
木くず	0.12
プラスチック類	0.00
コンクリートガラ	1.30



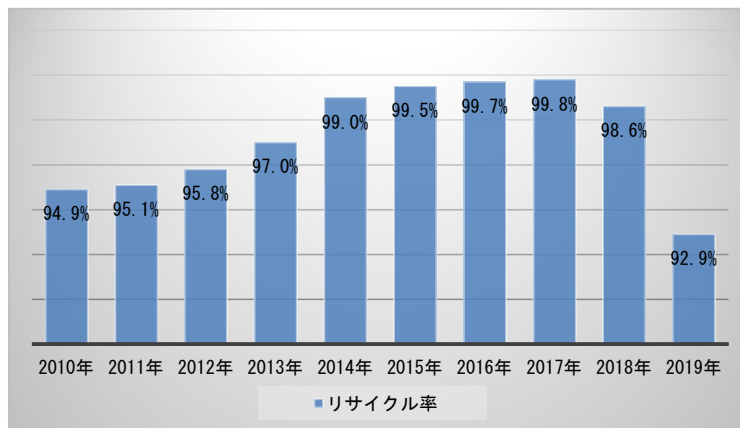
◆事業規模の推移

平成31年度再資源化率**92.9%**。

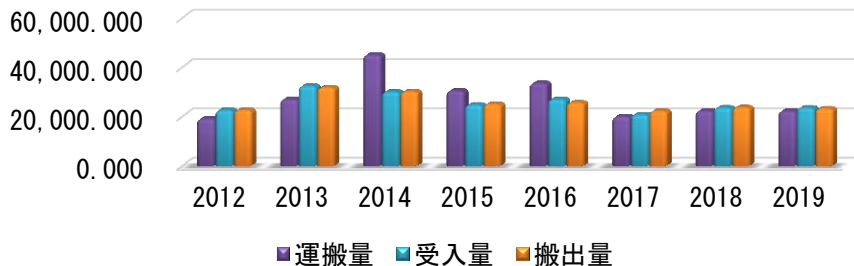
ゼロ・エミッションへ向けて日々チャレンジを重ねています。



年度	リサイクル率
2010年	94.9%
2011年	95.1%
2012年	95.8%
2013年	97.0%
2014年	99.0%
2015年	99.5%
2016年	99.7%
2017年	99.8%
2018年	98.6%
2019年	92.9%



活動規模		単位	2012/7/1 ~ 2013/3/31	2013/4/1 ~ 2014/3/31	2014/4/1 ~ 2015/3/31	2015/4/1 ~ 2016/3/31	2016/4/1 ~ 2017/3/31	2017/4/1 ~ 2018/3/31	2018/4/1 ~ 2019/3/31	2019/4/1 ~ 2020/3/31
運搬量		t	19,125.148	27,026.631	45,050.854	30,464.850	33,549.139	20,016.885	22,306.270	22,265.974
受入量		t	22,645.618	32,431.626	30,055.324	24,790.382	27,024.536	20,830.960	23,645.467	23,609.710
搬出量		t	22,620.092	31,770.160	30,135.870	25,025.920	25,638.404	22,249.270	23,707.280	23,223.920
売上高		百万円	714	997	1,004	893	958	870	940	1,008
従業員		人	61	69	77	71	70	81	77	85
本社・ 日の出リサイクルプラント第二	敷地面積	m2	—	—	—	—	—	—	—	1,756.37
	工場床面積	m2	—	—	—	—	—	—	—	892.62
	事務所床面積	m2	—	—	—	—	—	—	—	310.00
日の出リサイ クルプラント	敷地面積	m2	3,141.41	3,141.41	3,141.41	3,141.41	3,141.41	3,141.41	3,141.41	3,141.41
	工場床面積	m2	1,641.26	1,641.26	1,641.26	1,641.26	1,641.26	1,641.26	1,641.26	1,641.26
	事務所床面積	m2	119.24	119.24	119.24	119.24	119.24	119.24	119.24	119.24
あきる野リサ イクルプラント	敷地面積	m2	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00	6,900.00
	工場床面積	m2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	事務所床面積	m2	57.83	57.83	57.83	57.83	57.83	57.83	57.83	57.83



処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (t)
(i) 収集運搬		廃プラスチック類		3,267.520
		木くず		4,831.368
		紙くず		943.006
		繊維くず		21.973
		廃石膏ボード		3,087.061
		がれき類		5,755.254
		ガラス・陶磁器くず		3,224.637
		金属くず		959.500
		廃アルカリ		0.000
		廃油		0.000
		汚泥		0.005
		石綿含有産業廃棄物		172.994
		水銀使用製品産業廃棄物		2.530
		引火性廃油		0.126
		強アルカリ		0.000
収集運搬量合計				22,265.974
(ii) 中間処理		廃プラスチック類	破砕・圧縮・梱包・溶融	3,752.233
		木くず	破砕・圧縮・梱包	5,539.563
		紙くず	破砕・圧縮・梱包	993.758
		繊維くず	破砕・圧縮・梱包	22.895
		廃石膏ボード	破砕	3,239.245
		がれき類	破砕	5,893.960
		ガラス・陶磁器くず	破砕・圧縮・梱包	3,141.832
		金属くず	破砕	1,026.224
	うち 再資源化等			
			再資源化等量小計	0.000
中間処理合計				23,609.710
(iii) 最終処分				
最終処分量合計				0.000
(iv) 中間処理後の産業廃棄物 (処分委託)	最終処分	廃プラスチック類	管理型・安定型埋立	322.440
			焼却	65.550
		紙くず	管理型埋立	3.240
			焼却	12.000
		木くず	管理型埋立	8.080
			焼却	14.480
		繊維くず	管理型埋立	0.000
			管理型・安定型埋立	57.390
		ガラス・陶磁器くず	管理型・安定型埋立	579.150
			管理型・安定型埋立	403.650
		廃石膏ボード	管理型埋立	132.810
		再資源化等	廃プラスチック類	マテリアル (売却)
	マテリアル (委託)			1,326.070
	サーマル (委託)			1,871.770
	紙くず		マテリアル (売却)	892.540
			マテリアル (委託)	7.500
			サーマル (委託)	31.940
	木くず		サーマル (売却)	0.000
			マテリアル (委託)	322.560
			サーマル (委託)	4,883.230
	繊維くず		マテリアル (委託)	21.030
			マテリアル (売却)	913.070
	ガラス・陶磁器くず		マテリアル (委託)	29.450
			サーマル (委託)	41.810
			マテリアル (委託)	2,501.930
	がれき類		サーマル (委託)	116.760
			マテリアル (委託)	5,372.970
	廃石膏ボード	マテリアル (売却)	0.000	
マテリアル (委託)		3,092.580		
再資源化等量小計				21,625.130
中間処理後処分量合計				23,223.920

◆エコアクション21環境目標



弊社の事業の特性上、主な環境負荷の項目として下記4点を環境目標の項目として挙げ、当社の現在の状況を考慮して、数値目標を設定しました。
(2016年度対比)

エコアクション21 環境目標

二酸化炭素の排出削減

上下水道の使用量の削減

自社廃棄物の排出量の削減

受託廃棄物のリサイクル率向上



日の出りサイクルプラント							
環境目標	基準年度 (2016年)		中長期目標				
			17年4月～18年3月	18年4月～19年3月	19年4月～20年3月	20年4月～21年3月	21年4月～22年3月
1. 二酸化炭素排出量削減 (①②③④⑤のCO2の削減)	22. 36kg-CO2/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		排出量	22. 36kg-CO2/t	22. 36kg-CO2/t	22. 36kg-CO2/t	22. 36kg-CO2/t	22. 36kg-CO2/t
①電力消費量削減	8. 80kWh/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	8. 80kWh/t	8. 80kWh/t	8. 80kWh/t	8. 80kWh/t	8. 80kWh/t
②車両燃料消費量削減 (軽油)	5. 39L/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	5. 39L/t	5. 39L/t	5. 39L/t	5. 39L/t	5. 39L/t
③車両燃料消費量削減 (ガソリン)	0. 15L/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	0. 15L/t	0. 15L/t	0. 15L/t	0. 15L/t	0. 15L/t
④重機燃料消費量削減 (軽油)	1. 64L/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	1. 64L/t	1. 64L/t	1. 64L/t	1. 64L/t	1. 64L/t
⑤重機燃料消費量削減 (LPガス)	0. 10L/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	0. 10L/t	0. 10L/t	0. 10L/t	0. 10L/t	0. 10L/t
2. 自社廃棄物排出量削減 ①厨芥ごみ	38. 72kg	対基準年削減%	対基準年0. 1%削減	対基準年0. 2%削減	対基準年0. 3%削減	対基準年0. 5%削減	対基準年0. 6%削減
		排出量	38. 68kg	38. 64kg	38. 60kg	38. 57kg	38. 53kg
②紙くず排出量の削減	373. 78kg	対基準年削減%	対基準年0. 1%削減	対基準年0. 2%削減	対基準年0. 3%削減	対基準年0. 5%削減	対基準年0. 6%削減
		排出量	373. 41kg	373. 03kg	372. 66kg	372. 28kg	371. 91kg
3. グリーン購入の推進 (グリーン購入対象品目)	100%	対基準年向上%	—	—	—	—	—
		購入率	100%	100%	100%	100%	100%
4. 受託廃棄物の リサイクル率の向上	99. 7%	対基準年向上%	—	—	—	—	—
		R率	99. 7%	99. 7%	99. 7%	99. 7%	99. 7%
①マテリアルリサイクル	67. 5%	対基準年向上%	0. 3%	0. 4%	0. 5%	0. 6%	0. 7%
		R率	67. 8%	67. 9%	68. 0%	68. 1%	68. 2%
①サーマルリサイクル	32. 2%	対基準年向上%	-0. 3%	-0. 4%	-0. 5%	-0. 6%	-0. 7%
		R率	31. 9%	31. 8%	31. 7%	31. 6%	31. 5%
5. 水道使用量削減	2, 368L	対基準年削減%	対基準年0. 2%削減	対基準年0. 4%削減	対基準年0. 6%削減	対基準年0. 8%削減	対基準年1. 0%削減
		消費量	2, 363L	2, 359L	2, 354L	2, 349L	2, 344L
6. 振動・騒音の発生の防止	法定基準の遵守		年一回の定期測定				
7. 地域環境美化の実施			工場周辺の清掃 (毎週)				

*電力実排出係数：0. 521kg-co2/kwh (大和ハウス工業㈱2015年度) ※発生原単位 (t) は廃棄物の搬入量と搬出量の合計値です。

あきる野リサイクルプラント							
環境目標	基準年度 (2016年)		中長期目標				
			17年4月～18年3月	18年4月～19年3月	19年4月～20年3月	20年4月～21年3月	21年4月～22年3月
1. 二酸化炭素排出量削減 (①②③④⑤のCO2の削減)	1. 67kg-CO2/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		排出量	1. 67kg-CO2/t	1. 67kg-CO2/t	1. 67kg-CO2/t	1. 67kg-CO2/t	1. 67kg-CO2/t
①電力消費量削減	1. 14kWh/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	1. 14kWh/t	1. 14kWh/t	1. 14kWh/t	1. 14kWh/t	1. 14kWh/t
②重機燃料消費量削減 (軽油)	0. 47L/t	対基準年削減%	—	—	—	—	—
		消費量	0. 47L/t	0. 47L/t	0. 47L/t	0. 47L/t	0. 47L/t
6. 振動・騒音の発生の防止	法定基準の遵守		年一回の定期測定				
7. 地域環境美化の実施			工場周辺の清掃 (毎週)				

*電力実排出係数：0. 521kg-co2/kwh (大和ハウス工業㈱2015年度) ※発生原単位 (t) は廃棄物の搬入量と搬出量の合計値です。

◆環境保全活動の取組結果の評価



前ページに記載されているエコアクション21中長期目標達成の為、環境への取組の自己チェックリストを設定し、実施状況を確認しております。

【EA21運用開始前】 評価日：2019.5.11 澤田確認		
大項目／評価点／満点／環境保全取組度数 ※一覧表		
1. 事業活動へのインプットに関する項目	大項目結果	222／222
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	大項目結果	92／94
3. 製品及びサービスに関する項目	大項目結果	126／126
4. その他	大項目結果	48／48
総合結果		488／490

【EA21運用後：2019年4月1日～2020年3月31日】 評価日：2020.5.2 澤田確認		
大項目／評価点／満点／環境保全取組度数 ※一覧表		
1. 事業活動へのインプットに関する項目	大項目結果	222／222
2. 事業活動からのアウトプットに関する項目	大項目結果	92／94
3. 製品及びサービスに関する項目	大項目結果	126／126
4. その他	大項目結果	48／48
総合結果		488／490

◆環境活動計画の概要・取組結果

全従業員を対象に年度初めの各種会議において取組内容を説明し、目標達成に向け電力・燃料・水の削減、リサイクル率の向上、自社廃棄物の発生抑制に努めました。

電力

- ・昼夜作業を問わず、未使用の部屋・ヤードの消灯の徹底
- ・未稼働の設置機械の主電源offの徹底（モニター管理）
- ・電力管理システムによるデマンド管理
- ・室内温度夏季28度、冬季20度の徹底

軽油・ガソリン

- ・社用車、収集運搬車両のエコ運転の実施
- ・アイドリングストップ
- ・制限速度厳守
- ・タイヤ空気圧の適正化
- ・急発進及び急停止の禁止

水

- ・漏洩チェックによる上水使用量の削減
- ・過剰な散水等の禁止
- ・スウィーパー使用により散水削減により削減

リサイクル率

- ・選別の徹底により埋立・焼却処分量を削減し、リサイクル率の向上
- ・マテリアルリサイクル率の向上
- ・サーマルリサイクル率の削減

自社廃棄物

- ・PC入力保存によりペーパーレス化をはかり、紙くず排出量の削減
- ・マイバックによる購入での包装材の削減

グリーン購入

- ・事務用品のグリーン購入への取組み

環境目標		目標値	実績値 (目標対比)	評価
日の出	二酸化炭素排出量	22.36kg-CO2/t	23.14kg-CO2/t (+0.78kg-CO2/t)	×
	電力消費量削減	8.80kWh/t	8.47kWh/t (-0.33kWh/t)	○
	車両燃料消費量削減（軽油）	5.39L/t	5.13L/t (-0.26L/t)	○
	車両燃料消費量削減（ガソリン）	0.15L/t	0.153L/t (+0.03L/t)	×
	重機燃料消費量削減（軽油）	1.64L/t	1.79L/t (+0.15L/t)	×
	重機燃料消費量削減（LPガス）	0.10L/t	0.07L/t (-0.03L/t)	○
	水の消費の削減	2,363m3	2,790m3 (+427m3)	×
	グリーン購入	100%	100% (—)	○
	自社廃棄物（厨芥）の削減	81.62kg	50.80kg (-30.82kg)	○
	自社廃棄物（紙くず）の削減	373.41kg	504.37kg (+130.96kg)	×
あきる野	受託産業廃棄物のリサイクル率の向上	99.7%	92.9% (-6.8%)	×
	マテリアルリサイクル率の向上	63.5%	63.3% (-0.2%)	×
	サーマルリサイクル率の削減	36.4%	29.6% (-6.8%)	○
	二酸化炭素排出量	1.67kg-CO2/t	1.58kg-CO2/t (-0.09kg-CO2/t)	○
	電力消費量削減	1.05Wh/t	2.15kWh/t (+1.1kWh/t)	×
	重機燃料消費量削減	0.48L/t	0.17L/t (-0.31L/t)	○

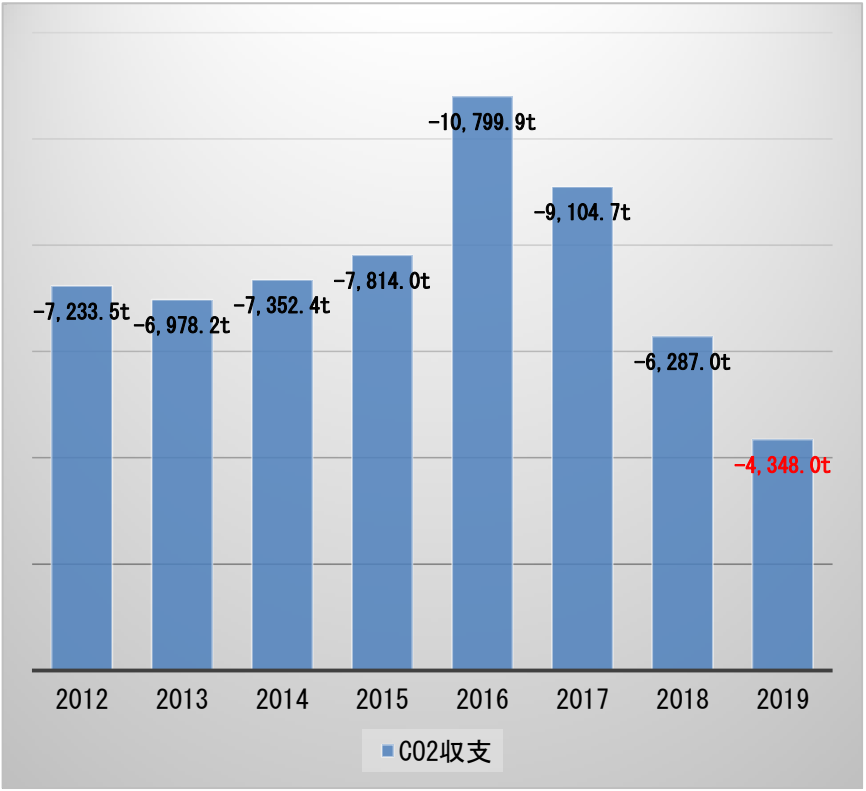
*電力実排出係数：0.521kg-co2/kwh（大和ハウス工業㈱2015年度） ※発生原単位（t）は廃棄物の搬入量と搬出量の合計値です。

◆CO2収支結果

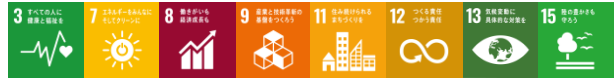


弊社の事業活動に伴って発生したCO2（燃料・電力）を排出係数、発熱量をもとに算出いたしました。また、同じく事業活動に伴って代替燃料供給によるCO2削減量を排出係数をもとに算出しました。弊社の事業活動によるCO2発生量に対し、約4.72倍の資源エネルギーの供給実績となりました。

平成31年度（2019年4月～2020年3月）			
事業活動でのCO2発生状況	資源消費	使用量	CO2発生量
	ガソリン	7,154 ㍓	16.6 t
	軽油	335,869 ㍓	881.4 t
	電力	497,971 kWh	259.4 t
	液化石油ガス	3,240 kg	9.7 t
	合計		1,167.2 t
代替燃料供給によるCO2削減	供給資源	資源供給量	CO2換算量
	バイオマス発電	4,672.54 t	1,495.2 t
	セメント代替燃料	3,452.14 t	3,935.4 t
	ガス化溶融発電	164.58 t	84.6 t
	合計		5,515.2 t
CO2収支結果			-4,348.0 t



◆今年度の反省及び次年度の取組内容



2018年度末から2019年度初めに起きた漏水の影響により、水道の使用量が大幅に増加してしまった。修繕後は使用量も例年並みに戻ったが、目標の達成には至らなかった。

リサイクル率は中国ショックの影響により大幅に下がった。埋立処分にも頼らざるを得ない状況にあり、マテリアルリサイクル率目標値を63.5%、サーマルリサイクル率目標値を31.5%のリサイクル率目標値を95%とし、達成を目指す。

本社及び日の出リサイクルプラント第二が竣工し、目標値の設定が必要となった。2019年10月に処分業の許可が下りたが、本格的な稼働には現在も至っていない。しかしながら環境目標値の設定は必要なので、二酸化炭素の排出量削減の算出項目は2020年1月から3月までの値を元に、水道の使用量及び自社廃棄物に関しては2019年8月から2020年3月までの値を元にそれぞれ環境目標値を設定する。（右表参照）また、弊社の中長期目標（16ページ参照）は2021年度で一度区切りを迎える。本社・日の出リサイクルプラント第二は上記値を元に2年間の目標値を設定する。

2019年度のeco検定に過去最高の7名の合格者が出た。環境教育の一定の成果が上がったものとする。また1つ事業所が増えたので、より質の高い環境教育が求められることになる。

株式会社 エコワスプラント
環境管理責任者 澤田 鉄平

環境目標（日の出リサイクルプラント第二）					
環境目標	基準年度 (2020年)	中長期目標			備考
			2020年4月～2021年3月	2021年4月～2022年3月	
1. 二酸化炭素排出量削減 （①・②・③・④・⑤のCO2の削減）	5.00kg-CO2/t	対基準年削減%	—	—	
		排出量	5.00kg-CO2/t	5.00kg-CO2/t	
①電力消費量削減	0.58kWh/t	対基準年削減%	—	—	
		消費量	0.58kWh/t	0.58kWh/t	
④重機燃料消費量削減（軽油）	1.79L/t	対基準年削減%	—	—	
		消費量	1.79L/t	1.79L/t	
⑤重機燃料消費量削減（LPガス）	0.10L/t	対基準年削減%	—	—	
		消費量	0.10L/t	0.10L/t	
2. 自社廃棄物排出量削減 ①厨芥ごみ	9.90kg	対基準年削減%	対基準年3.0%削減	対基準年6.0%削減	総社員当たりの削減
		排出量	9.60kg	9.31kg	
②紙くず排出量の削減	159.60kg	対基準年削減%	対基準年5.00%削減	対基準年10.00%削減	
		排出量	151.62kg	143.64kg	
3. グリーン購入の推進 （グリーン購入対象品目）	100%	対基準年向上%	—	—	
		購入率	100%	100%	
5. 水道使用量削減	58m3	対基準年削減%	対基準年2.0%削減	対基準年4.0%削減	
		消費量	57m3	56m3	
6. 振動・騒音の発生の防止	法定基準の遵守		年一回の定期測定		
7. 地域環境美化の実施			工場周辺の清掃（毎週）		
*電力実排出係数：0.521kg-co2/kwh（大和ハウス工業㈱2015年度） ※発生原単位（t）は廃棄物の搬入量と搬出量の合計値です。					

◆代表者のコメント

2019年度も中国による廃プラスチック輸入規制に伴う日本国内での廃プラをはじめとする可燃物の滞留が起き、従来までリサイクルできていた廃プラスチックが埋立、焼却処理に依存せざるを得ない年となった。それによりリサイクル率のダウンとなってしまったが、この影響は暫く続くと考えられる。二酸化炭素排出量においては平成30年度より若干ではあるが改善が見られたが、限界にも近いため低炭素燃料の導入を行っていく。また、本年度は本社および新工場の建設を行ったため、軽油や電力の増加や紙くずの使用及び引っ越しによる廃棄も増えてしまった。しかしながら、2年連続で本年度も交通エコロジー・モビリティ財団エコドライブ活動コンクールにおいて優良賞を受賞するなど、一定の成果を挙げることができた。

来年度は、第2工場の本稼働により、二酸化炭素排出量が増加することが予想されるが、SDG's宣言も行ったので、更なる削減案を考えていきたい。

株式会社 エコワスプラント
代表取締役 浅尾 洋和

◆社会貢献活動・その他環境活動



本社・日の出リサイクルプラント第二竣工

2019年7月16日 本社・日の出リサイクルプラント第二竣工いたしました。



SDGs宣言を致しました

SDGsの趣旨に賛同し、産業廃棄物処理業を通じて私たちが出来る事から少しずつ活動を行うことで、持続可能な世界の実現をめざします。



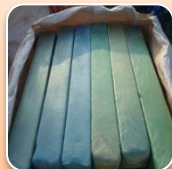
健康経営優良法人2020に認定されました

地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



エコドライブ活動コンクール一般部門優良賞受賞

交通エコロジー・モビリティ財団が主催するエコドライブ活動コンクール一般部門において2度目の優良賞を受賞いたしました。今後とも環境のためにエコドライブを推進してまいります。



障がい者・高齢者雇用

働き場の少ない障がい者、高齢者の方を積極的に受け入れ、其々の適性に見合った業務を行って頂いています。写真は障がい者の方が発泡スチロールを溶解し、成型したインゴットです。2019年3月31日の実雇用率：5.88%



近隣清掃

毎月第一月曜日に近隣にポイ捨てされた廃棄物を回収しています。2019年4月～2020年3月迄で44.62kgを回収いたしました。



環境関連法規への違反、訴訟等の有無

- ・環境関連法規制の遵守状況のまとめの一覧表に基づき、チェックを行った結果、法律・条例について、違反はありません。
- ・環境関連法規制に関する訴訟はありません。

環境コミュニケーション

- ・(株)エコワスプラント 日の出リサイクルプラントでは、企業の方・地域の方などの工場見学を随時受け入れています。
- ・2019年4月～2020年3月にかけて、行政・企業の環境担当の方25社の方々が工場見学されました。

eco検定合格者数・保有率（2020.3.31現在）

- ・取得者数：18名（内2019年度合格者数：7名）
- ・保有率：20.6%